

1. 本県周辺海域の概況(図1, 1/18現在)

- ・黒潮の流型はB型で推移しています。黒潮本流は、犬吠埼に接岸した状態で本県沖合を東北東に流去しています。
- ・親潮第一分枝の先端位置は、北緯40° 30' 東経145° 00' 付近(八戸沖)にあります。親潮の面積は平年並となっています。また、東北海域の海面水温は低めで推移し、一部海域ではかなり低めとなっています(気象庁1/9発表)。
- ・会瀬～大洗沖で冷水が南下しています。また、南部海域では引き続き暖水の影響が残存しています。

2. 海洋観測結果(1/13～14:調査船「いばらき丸」)

- ・荒天により、各定線とも東経142度までの調査となりました。
- ・水平水温図(水温, 前月差, 平年偏差)を図2～9に示しました。また、各定線の鉛直水温図を図10～13に、会瀬・鹿島定線の鉛直水温図(前月差)を図14～15に、鉛直水温図(平年偏差)を図16～17に示しました。
- ・海面水温は、会瀬沖で9.3℃～14.1℃、大洗沖で10.8～16.7℃、鹿島沖で12.8～18.8℃、犬吠埼沖で13.5℃～19.8℃でした(①, 図2)。
- ・前月と比べると、表層～100m深では全域で降温し、特に会瀬～大洗沖合域で顕著に降温しました。200m深では、犬吠埼定線の一部で昇温しましたが、その他海域は降温しています(②)。
- ・平年と比べると、冷水南下の影響により会瀬～大洗沖で低めですが、その他海域では概ね全層で平年並み～高めで推移しています(③)。
- ・潮流の特徴として、会瀬～大洗定線の沖合では強い逆潮(0.5～1.8ノット)が、鹿島～犬吠埼定線の沖合では黒潮の強い流れ(1.5～3.3ノット)がそれぞれ観測されました。

3. 今後1か月の見通し

- ・黒潮流型は2月上旬にC型に推移するとみられ、犬吠埼沖を北東に流去するでしょう。
- ・親潮の面積は平年並みで推移する見通しで、親潮第一分枝の先端は北緯41° 00' 東経143° 30' (青森県沖)に位置するとみられます。親潮系冷水が本県沖合域をさらに南下する可能性があります。
- ・水温を平年と比べると、冷水南下により北部では「低め～平年並み」で推移するでしょう。また、南部では暖水が残存しており、黒潮流路変動による暖水の供給が予測されることから、「平年並み～高め」で推移するでしょう。

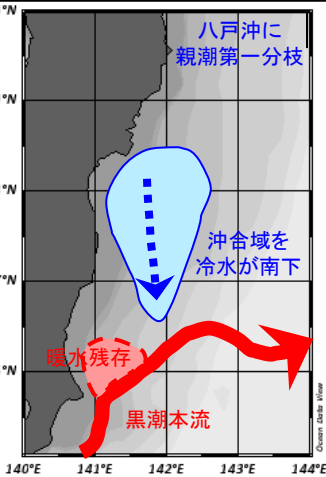


図1 海況の概要 (1月18日現在)

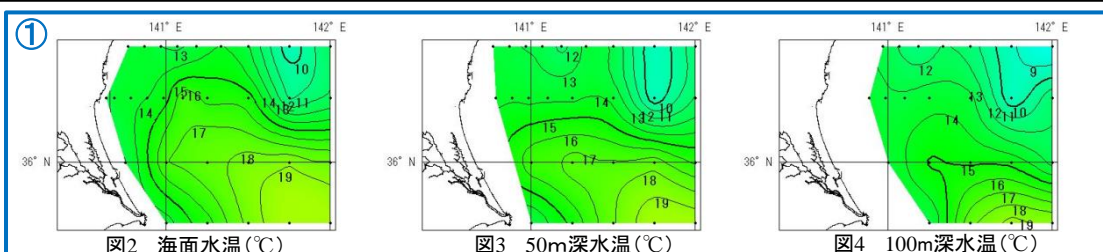


図2 海面水温(°C)

図3 50m深水温(°C)

図4 100m深水温(°C)

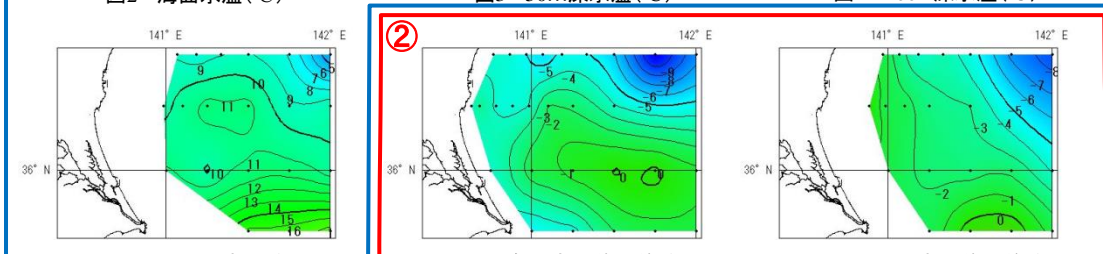


図5 200m深水温(°C)

図6 海面水温前月差(°C)

図7 100m深水温前月差(°C)

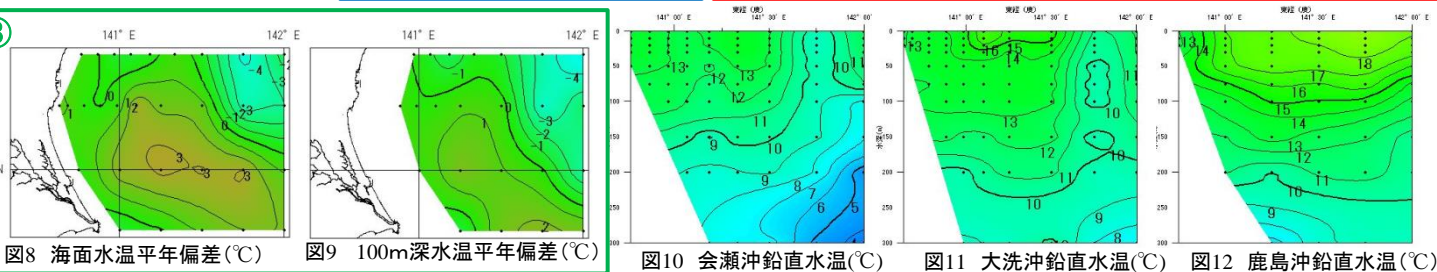


図8 海面水温平年偏差(°C)

図9 100m深水温平年偏差(°C)

図10 会瀬沖鉛直水温(°C)

図11 大洗沖鉛直水温(°C)

図12 鹿島沖鉛直水温(°C)

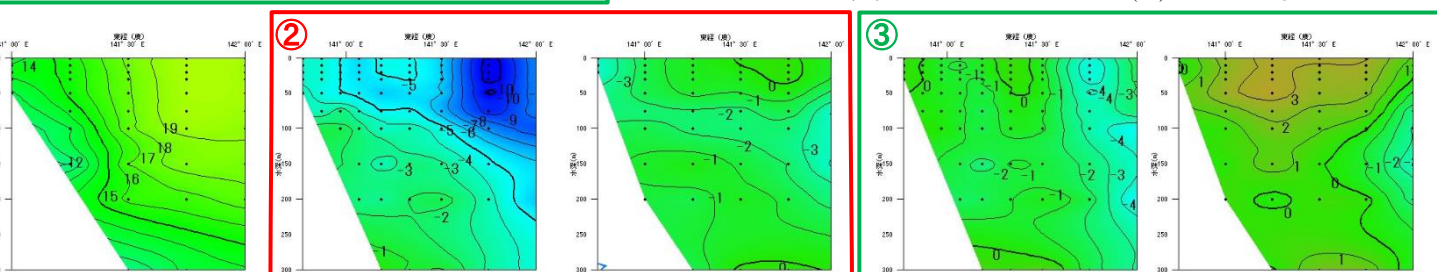


図13 犬吠埼沖鉛直水温(°C)

図14 会瀬沖鉛直水温前月差(°C)

図15 鹿島沖鉛直水温前月差(°C)

図16 会瀬沖鉛直水温平年偏差(°C)

図17 鹿島沖鉛直水温平年偏差(°C)